



# 報恩寺だより

第19号

2020/3/10  
発行

報恩寺本坊 三木市志染町中自由が丘3-305  
報恩寺支坊 神戸市西区桜が丘西町6-6-1

TEL 0794-85-1696  
TEL 078-904-6581

## 強<sup>どう</sup>縁<sup>えん</sup>を慶<sup>よろこ</sup>ぶ

最近、お坊さんによるお悩み回答サイト「HASUNOHA(ハスノハ)」で、一日一つを目安に回答をしています。人間、あまり嬉しいことの相談というのは無いようで、苦しみ悩んだ末に相談されることが多いようです。

相談される年齢層、内容も様々です。引きこもり、受験、結婚生活、自死、仏事等々本当に幅広いです。私が経験したことのない状況も多く、こういった回答が最善であるかをしばし思案します。一方、他人ごととは思えず、自分と重ね合わせて考え込むこともしばしばです。

改めて感慨深く思うのは、生きるという事は悩むことと無縁でいられないという事です。蓮(はす)は、泥に咲く花です。濁った水に根を張って、その上で泥に全く染まらず美しい花弁を開かせるのです。もし、白い布を浮かべたとしたらどうでしょう。間違いなく泥の色に近づくことでしょう。全く染まらないところに、蓮そのものが持つ生命力、自らが本来持つ色を咲かせ切る力強さを思わずにはおれません。

親鸞聖人は、阿弥陀様の方から私にご縁を持って下さったことを「強縁」と仰います。それは、私たちの濁った心中に力強く咲く、蓮の花であるとの仰

せです。「この阿弥陀を依り所とせよ」(南無阿弥陀仏)と力強く咲く六字は、私たちの口からお念仏として花開きます。そして、苦しみ悩みの大もとは、依りどころを蓮にではなく、自分という泥の中に求めているということを知らせてくれています。

(悠水)



## とおちか 「遠近」(電話・インターネットによる仏参受託) 始めます



この度は、当報恩寺にご縁の有る方を対象とした電話、インターネットによる仏参の受託「遠近」をこの春より運用いたします。遠近とは、お経に基づいている名称です。阿弥陀様は遠くに居られるように思うけれども、実は私に近いところにおわしますお慈悲の仏様である、というところに由来があります。つまり、遠くに思われる仏事を身近に感じて欲しいという思いからこのような名称とさせていただきました。

近年、お仏壇の継承をめぐる様々な事情によって、仏参が難しい方が出て来られました。例えば、施設入所に伴いお仏壇を持ち込めない、しかしお参りしたい気持ちがあるという場合です。仏事法事を営みたいにも関わらずこれが叶わない、というケースです。また、ごく最近ではコロナウィルスの影響で仏参を取り止める事態も出てきました。今後、社会の在り方、仏参の在り方は確実に変化していくと思っております。

勿論、これまでの伝統的仏参を踏襲することには変わりはありません。ただ、その方法を多様化させたいというのが今回の趣旨です。電話或いは当報恩寺のホームページよりお申し込みを頂き(決済可能)、お盆参りやご法事を本堂で行って、写真或いは動画の形でご覧いただくように致します。特に動画のような形式ですと、法事に出席できない遠隔地の方、体のご不自由な方、子孫ご親戚に至るまで閲覧可能になります。本来なら、なるべくご参集いただいた上で一堂に会し行うべきが仏事ですが、事情により行わないのではなく、どのような事情にも対応して仏事をお勤めしていただけるようにしたいと考えております。どうぞ、ご不明な点があれば、ホームページをご覧頂くか、電話、メールにてもお問い合わせください。

電話のご依頼 + お布施のご送付 → 法要時の写真撮影・一筆を同封の上、ご返送

HPのご依頼 + 決済方法の選択 → 動画撮影 → オンラインで視聴・仏参

### 行事の継続と中止

昨今のコロナウィルスの広がりに伴いまして、多人数に及ぶ行事を今年に限り中止と致します。来年は、予定通り開催してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。尚、以下の行事については継続してまいります。

#### 継続開催

- 日曜礼拝(本坊)
- 土曜聖典会
- 合同盂蘭盆会
- みんなの法話会(西神支坊)
- 春季・秋季合同彼岸会

